

「これdeプリント PLATIA」ヘルプガイド

1. 「これdeプリント PLATIA」の特長

これdeプリント PLATIA(以下これdeプリント)を用いることで、ラインキー部分に、機能名称や、名前、電話番号などを記述することができます。お客さまの用途にあわせた電話機シートをプリンタから印字して利用することができます。

2. 動作環境

これdeプリントは表 1で示す「PC環境」で動作します。電話機シートを印刷する際は、「対応プリンタシート(PLATIA用)」に記載された型番のプリンタシートをご使用下さい。

表 1 動作環境

PC環境	動作 OS(*1)	Windows 10 (32bit/64bit) Windows 11 (64bit)
	ランタイム	.NET Framework4
対応プリンタシート(PLATIA 用)		4440852500-1 (30 ボタン)プリンタシート) 4440852500-2 (30 ボタン)プリンタシート-02A) 4440852000-1 (18 ボタン)プリンタシート) 4440852000-2 (18 ボタン)プリンタシート-02A)

(*1)本書中に記載の画面はWindows7のものです。他OS利用時は読み替えてお読みください。

3. インストールとアンインストール

3.1 インストール

- (1) 『Koredeprint_PLATIA_V1.1.zip』のコピー
 - ・ 「Koredeprint_PLATIA_V1.1.zip」をインストールPCのデスクトップへコピーします。
- (2) 『Koredeprint_PLATIA_V1.1.zip』の展開
 - ・ 「Koredeprint_PLATIA_V1.1.zip」のアイコン上で右クリックし、メニューから「すべて展開」を選択します。
 - ・ 画面の指示に従いファイルを展開して下さい。
 - ・ 展開完了後、展開されたフォルダを開きます。
- (3) 『Microsoft .NET Framework』のインストール(.インストールされていないとき)
 - ・ 「dotNetFx40_Full_x86_x64.exe」をダブルクリックし、『Microsoft .NET Framework』をインストールします。
⇒お客様のパソコンに『Microsoft .NET Framework』がインストールされているかを確認する方法は「8. 付録」を参照して下さい。

3.2 アンインストール

これdeプリントのアンインストールは、これdeプリントのフォルダをすべて削除するだけです。

4. これdeプリントの起動と終了

- (1) アプリケーションの起動
 - ・ 展開されたフォルダの「KoreDePrint.exe」をダブルクリックします。
- (2) アプリケーションの終了
 - ・ これdeプリントの画面上(図 1)にある「×」ボタンをクリックし、終了します。

5. プリンタシート編集

はじめにプリンタシート編集画面について説明します。

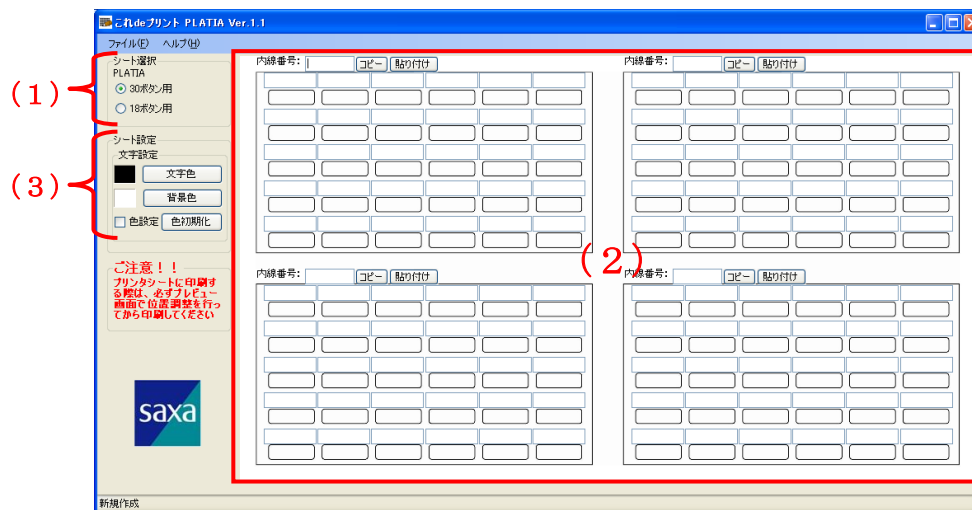


図 1 プリンタシート編集画面

- (1) シート選択
 - ・ 作成する電話機シートの種類を選択します。(5.1参照)
- (2) シート編集画面
 - ・ 電話機シート編集画面です。1つの編集画面に4子機分の電話機シートが表示されています。編集方法は5.2～5.5を参照して下さい。
- (3) 文字設定
 - ・ ラインキーに入力した文字の色と背景色を変更できます。変更方法は5.4を参照して下さい。

5.1 電話機シートの選択

図 2のシート番号を選択すると、プリンタシート編集画面に表示されているシートが切り替わります。

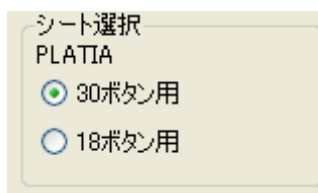


図 2 シート選択画面

5.2 内線番号入力

子機毎に内線番号を記述することができます。図 3に文字を入力して下さい。入力された文字列は印刷時に電話機シートの枠外(左上)に印字されます。

※入力可能文字数は全角、半角に関わらず6文字です。

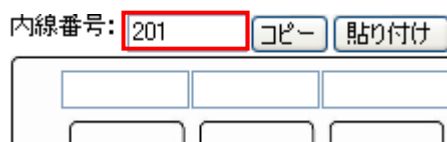


図 3 内線番号入力欄

5.3 ラインキー文字の編集

ラインキー文字を編集することで、各キーに機能名称や、名前、電話番号などを記述することができます。

営業所1	営業所2	営業所3			
123	456	789			
転送1	転送2	パーク			

図 4 ラインキー文字入力欄

- (1) 図 4のテキストボックスをクリックします。
- (2) クリックしたテキストボックスに文字を入力します。
※入力可能文字数は全角、半角に関わらず20文字です。
※印刷時のサイズ調整により文字が見えにくい場合があります。入力文字数は以下の推奨文字数を参考にしてください。
※入力文字がテキストボックスに収まらない場合、全ての文字が表示されません。「6.1印刷プレビュー」により入力状態を確認して下さい。

【行単位の推奨文字数】
全角文字: 10文字以下
半角文字: 12文字以下

- (3) テキストボックスには改行を入力できます。
※改行は複数入力可能ですが、2つ以上の改行(3行表示以上)を入れた場合、印刷時のサイズ調整により文字が見えにくい場合があります。
※改行を入力した場合、全ての文字がテキストボックスに表示されません。「6.1印刷プレビュー」により入力状態を確認して下さい。
※改行は通常文字2文字分に相当します。(改行を1つ入力した場合、通常文字は18文字しか入りません)

5.4 文字色と背景色の設定

ラインキー文字入力欄の文字色と背景色を変更することが出来ます。

- (1) 「文字設定」の「文字色」と「背景色」を選択

【文字色の選択】

- 図 5の「文字色」をクリックすると色設定ダイアログが表示されます。色を選択し「OK」をクリックすると文字色が選択されます。

【背景色の選択】

- 図 5の「背景色」をクリックすると色設定ダイアログが表示されます。色を選択し「OK」をクリックすると背景色が選択されます。

【選択中の色を初期化】

- 「色初期化」をクリックすると、選択した色をデフォルトの色に戻します。
(文字色:黒 背景色:白)

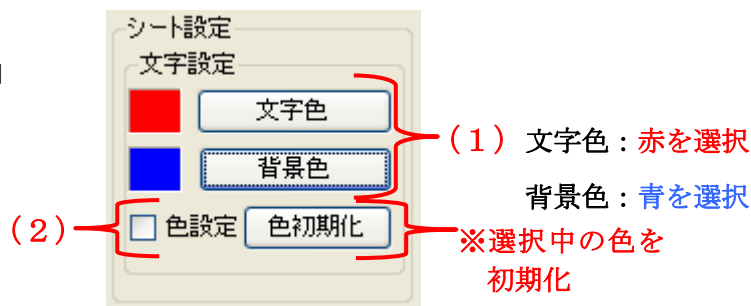


図 5 文字設定

- (2) 「色設定」にチェックを入れる

- 図 5の「色設定」をクリックします。

- (3) ラインキー文字入力欄のテキストボックスをクリック

- テキストボックスをクリックすると、図 6の様にテキストボックスの文字色と背景色が選択された色に変更されます。



図 6 文字色と背景色を変更

5.5 コピー&貼り付け

任意の電話機シートの全内容をコピーし、他の電話機シートへ貼り付けることができます。コピー&貼り付けにはプリンタシート編集画面上に配置された図 7のボタンを使用します。

【ご注意】

Windows のコピー&貼り付けでは、テキストボックス内の文字しかコピーされません。

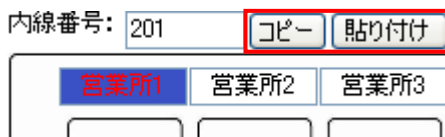


図 7 コピー&貼り付け

(1) コピー元の選択

- コピー元の電話機シートにある「コピー」ボタンをクリックします。

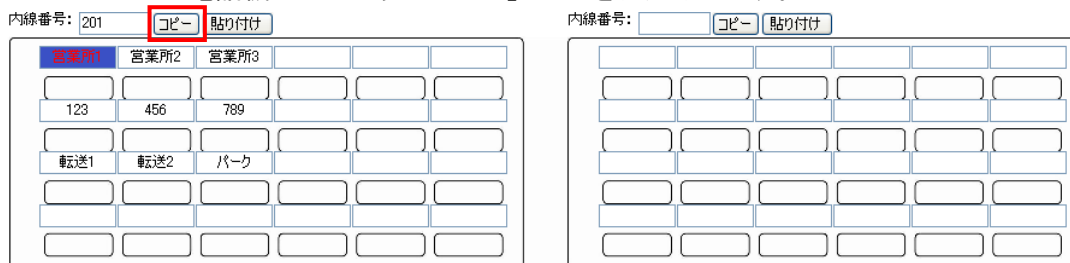


図 8 コピー元の電話機シートを選択(コピー前)

(2) コピー先の選択

- コピー先の電話機シートにある「貼り付け」ボタンをクリックします。
- コピー元の電話機シートの内容が全てコピー先の電話機シートへ貼り付けられます。

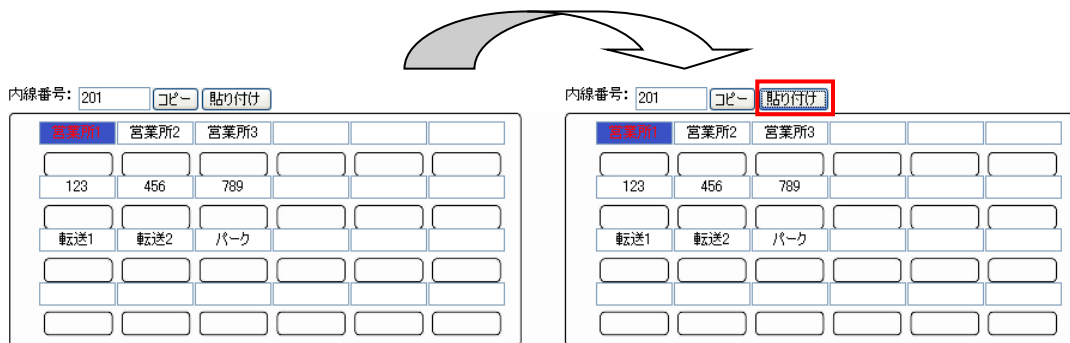


図 9 コピー先の電話機シートを選択(貼り付け後)

6. 印刷

【ご注意】

プリンタシートへ印刷の際、必ずインクジェットプリンタをご使用下さい。

6.1 印刷プレビュー

メニューのファイルから印刷プレビューを選択すると印刷プレビューが表示されます。

- (1) メニューから「印刷プレビュー」を選択(図 10参照)

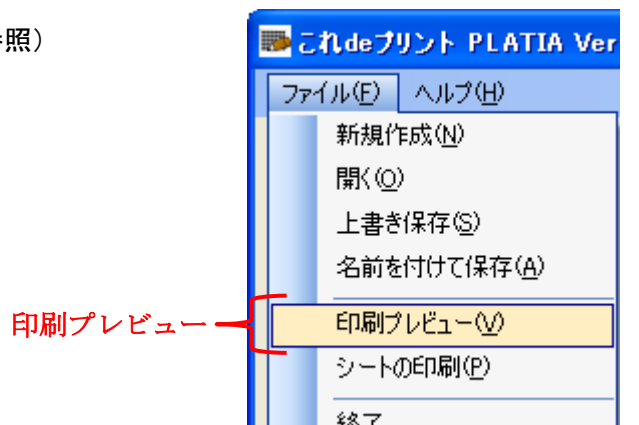


図 10 メニューの印刷プレビュー

- (2) 「印刷プレビュー」画面が表示されます(図 11参照)

※プレビュー画面上では確認のためボタンや白枠が表示されます。

【ご注意】

プレビュー画面上とプリンタシート上での色合いは異なる場合があります。

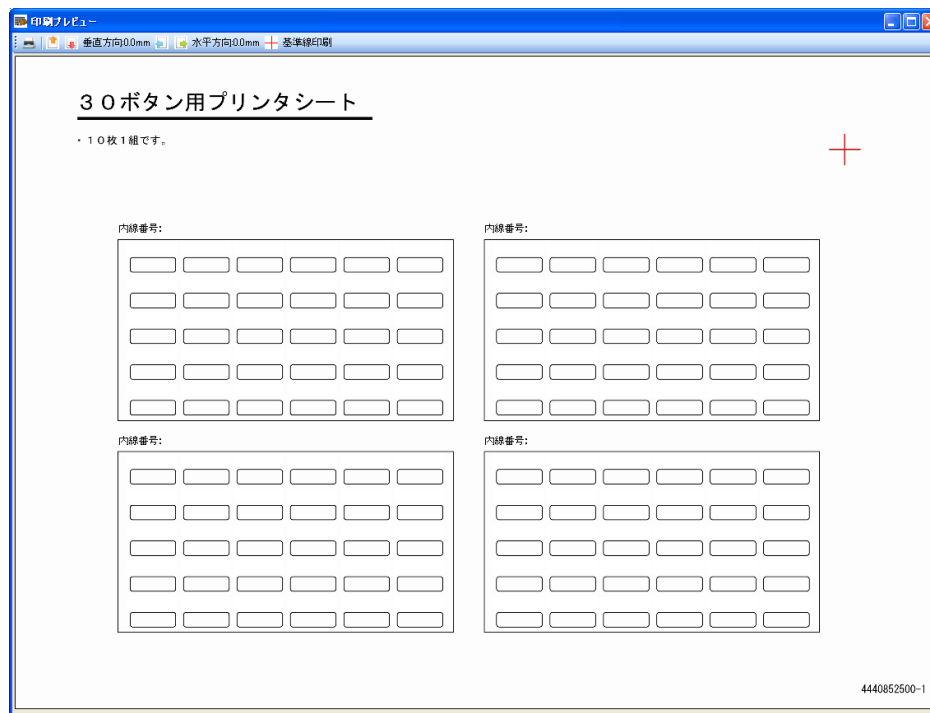


図 11 印刷プレビュー画面

6.2 位置調整と試し刷り

これdeプリントでは、印刷の位置調整と試し刷り機能があります。試し刷り機能では、基準線（“十”マーク）のみ印刷することが可能です。この基準線がプリンタシートに印刷されている“十”マークと重なるように位置調整を行なって下さい。

(1) 位置調整

- 図 11の上部(図 12)にある位置調整ボタンにより上下左右に印刷位置を調整します。
※印刷位置は0.1mm単位で調整可能です。



図 12 位置調整ボタン

(2) 試し刷り

- 図 11の上部(図 13)にある基準線印刷ボタンを押すと、“十”マークのみ印刷されます。
- プリンタシート上の“十”マークと重なることを確認して下さい。

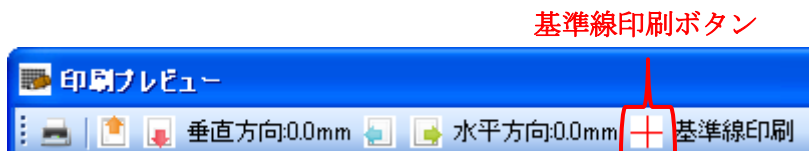


図 13 基準線印刷ボタン

6.3 印刷

印刷された“十”マークとプリンタシート上の“十”マークが重なることを確認した後、メニューのファイルから「シートの印刷」(図 14)または、印刷プレビューから「印刷」(図 15)のアイコンをクリックします。

【ご注意】

プリンタシートに印刷する際は、必ずプレビュー画面で位置調整を行って下さい。

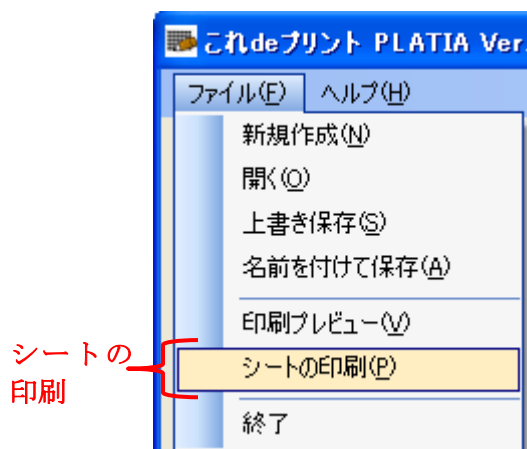


図 14 シートの印刷

印刷ボタン



図 15 印刷ボタン

7. シートファイルの新規作成／開く／名前を付けて保存

7.1 新規作成

メニューのファイルから「新規作成」を選択すると、現在選択されている電話機シートで初期化されます。

※シート編集の場合、保存を確認するダイアログが表示されます。

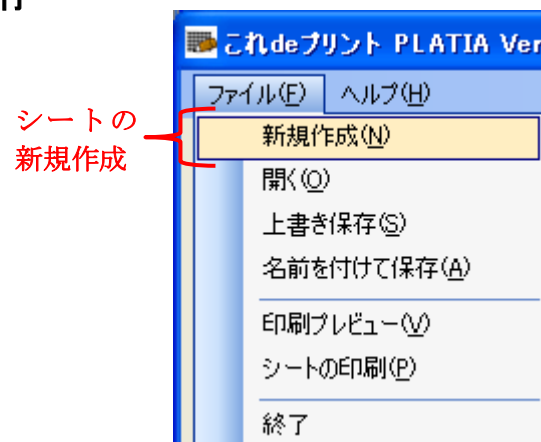


図 16 新規作成

7.2 開く

メニューのファイルから「開く」を選択すると、ファイルダイアログが表示されます。シートファイルを選択すると、プリンタシート編集画面にファイルの内容が読み込まれます。

※シート編集の場合、保存を確認するダイアログが表示されます。

※シートファイルの拡張子は「.kp」です。

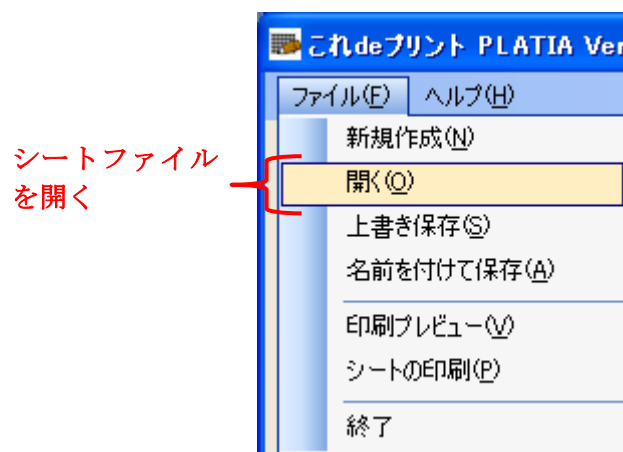


図 17 開く

7.3 上書き保存

メニューのファイルから「上書き保存」を選択すると、現在のファイル名で、シートデータをファイルに保存します。

※ファイル名が指定されていない場合は、「7.4 名前を付けて保存」が実行されます。

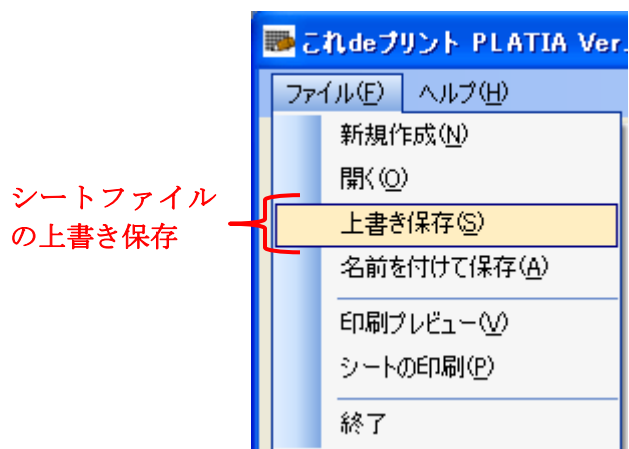


図 18 上書き保存

7.4 名前を付けて保存

メニューのファイルから「名前を付けて保存」を選択すると、ファイルダイアログが表示されます。ファイル名を指定すると、プリンタシート編集画面の内容がシートファイルに保存されます。

※シートファイルの拡張子は「.kp」です。

シートファイル
に名前を付けて
保存

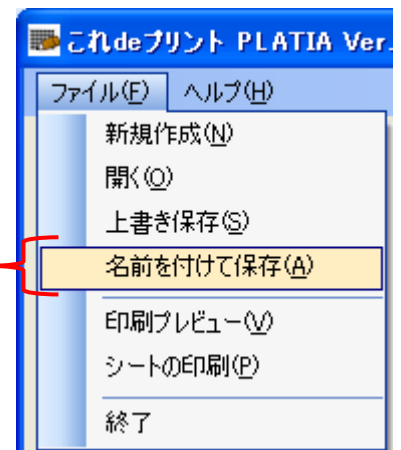


図 19 名前を付けて保存

8. 付録

8.1 「Microsoft .NET Framework」のインストール確認

お客様のパソコンに[.NET Framework4]がインストールされているかを調べる方法を記載します。

- (1) スタートメニューより[コントロールパネル]をクリックし、[コントロールパネル]を表示させます。



図 20 コントロールパネル

- (2) [プログラム]⇒[プログラムと機能]をクリック選択し、[プログラムのアンインストールまたは変更]を表示します。

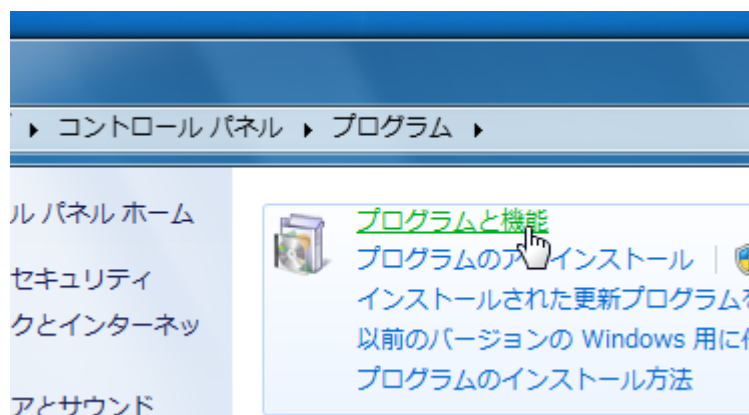


図 21 プログラムと機能

- (3) [プログラムのアンインストールまたは変更]の一覧に[Microsoft .NET Framework 4]の記載があれば[Microsoft .NET Framework 4]はインストール済みです。画面を閉じて下さい。

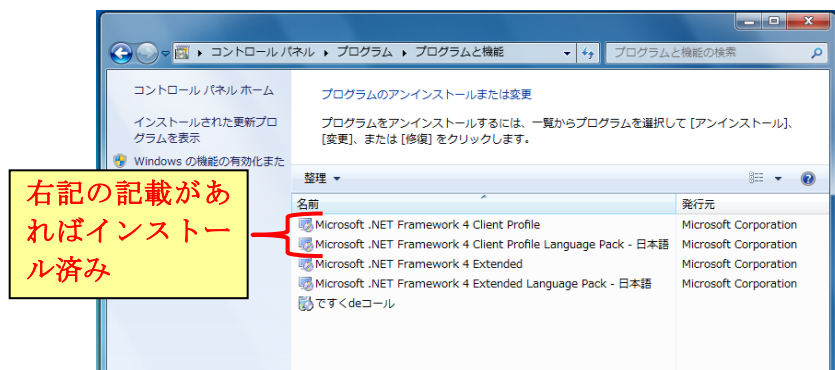


図 22 プログラムのアンインストールまたは変更

著作権・商標について

- ・ Microsoft, Windows, Windows 7, Windows 10, Windows 11, .NET Framework は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ Windows® の正式名称は Microsoft® Windows® Operating System です。
 - ・ その他、記載させている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
-
- 本製品を使用したことによって生じた損害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきましても一切その責任を負いかねます。
 - 本サービスの仕様は改良のため予告なく変更することがあります。ご了承下さい。

【第 2 版】この資料の内容は 2023 年 2 月現在のものです。